

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道58号 <small>はまつわき</small> 浜津脇拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県熊毛郡中種子町 納官 至：鹿児島県熊毛郡中種子町 春日			延長	6.3km
事業概要	<p>国道58号は、種子島の西之表港から島内を縦断し島間港に至る幹線道路である。                  浜津脇拡幅は、中種子町納官から中種子町春日までの延長6.3kmの区間の道路改良である。                  当区間は一次改築済みではあるが、歩道が未整備なことや線形不良の隘路区間も多いことから、危険な状況である。                  このため、歩道の整備と線形不良の隘路区間を解消することにより、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、島内外の交流・連携に資することを目的とする。</p>				
S60年度事業化	H年度都市計画決定 (H年度変更)	S60年度用地着手	S60年度工事着手		
全体事業費	63億円	事業進捗率	95%	供用済延長	6.1km
計画交通量	5,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 3/87億円 (事業費：3/81億円 維持管理費：0/6億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 4/111億円 (走行時間短縮便益：4/109億円 走行費用減少便益：0/2億円 交通事故減少便益：0/0億円)	基準年 平成15年	
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保(現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線がある) ・災害への備え(緊急輸送道路としての位置付けあり) 他5項目に該当(定量的評価項目を含む)				
関係する地方公共団体等の意見	本路線は種子島における幹線道路であり、緊急輸送道路や観光道路でもあることから、地元は早急な整備を望んでいる。用地取得など事業推進については、用地交渉や用地調査など地元町の全面的な協力を得ている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	日交通量は2,320台/日(昭和60年度)から4,280台/日(平成11年度)と増加(1.84倍)しており、道路改良の必要性はますます高まっている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成15年度までに延長6.1kmの改良工事を完了しており、竹之川橋及び前後の改良を残すのみである。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	バイパス部施工時に、地滑りが生じたため、この対策工法検討・施工に不足の日数を要したが、鋭意工事を進めており、平成16年度に全線供用予定である。				
施設の構造や工法の変更等	切土量と盛土量のバランスをとることにより、残土発生量を抑え、コスト縮減を図っている。 また、コンクリート二次製品の積極的な活用により、コストの縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図	<p>事業箇所 L=6.3km 供用済 L=6.1km L=2.6km L=3.5km</p> <p>起点：中種子町納官 終点：中種子町春日</p> <p>地図上の地名：西之表市、星南小学校、星南中学校、浜津脇、竹之川橋、中種子町春日、玉南種子町</p> <p>凡例：                  ■ 供用中                  ■ 再評価箇所                  ■ うち供用中</p>				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

